

おすすめ…!!



農林水産省「稲発酵粗飼料
生産・給与技術マニュアル」
に掲載された農薬です。

水稲用初期一発除草剤

農林水産省登録
第21300号

クサトツタ[®] 粒剤

ジメタメトリン・ピラゾレート・プレチラクロール・プロモブチド粒剤

クサトツタは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標



3キ口剤

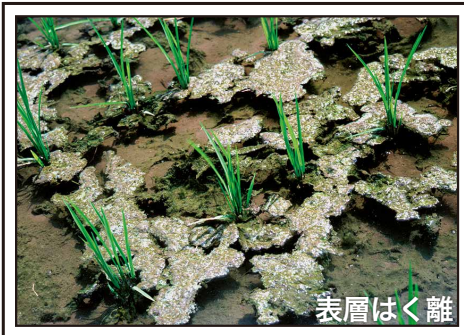
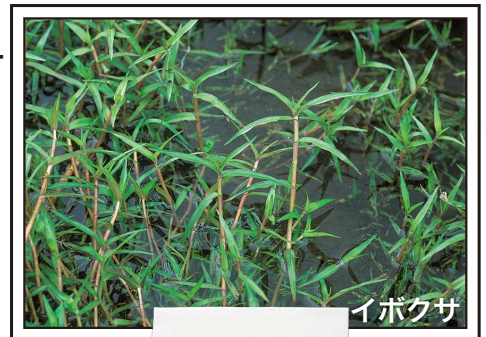


**田植同時処理
もできる!!**



- 幅広い草種に、優れた効果!!
- SU抵抗性雑草^{*}に安定した効果!!
- 藻類、表層はく離にも、優れた効きめ!!

※スルホニルウレア系除草剤に抵抗性を獲得した雑草(アゼナ類、ホタルイ、コナギ等)のことを言います。



JAグループ
農協 | **全農** | 経済連

全農 は登録商標 第4702318号

おすすめ...!!

クサトツタ 粒剤

■有効成分：ジメタメトリン...0.20% ピラゾレート...4.0% プレチラクロール...1.5% プロモブチド...2.0% ■人畜毒性：普通物*

※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づき、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

特長

- 田植同時処理もできる!!
- 幅広い草種に、優れた効果!!
- SU抵抗性雑草に安定した効果!!
- 藻類、表層はく離にも、優れた効果!!

2023年11月20日現在

■使用基準

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	3kg/10a	1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで			湛水散布

ジメタメトリンを含む 農薬の総使用回数	ピラゾレートを含む 農薬の総使用回数	プレチラクロールを含む 農薬の総使用回数	プロモブチドを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内	2回以内

■上手な使い方



◎SU抵抗性雑草(アゼナ、ホタルイ、コナギ等)の発生地域では登録の範囲内でできるだけ早く使用してください。
◎雑草の発生消長にあわせ、適期に散布してください。

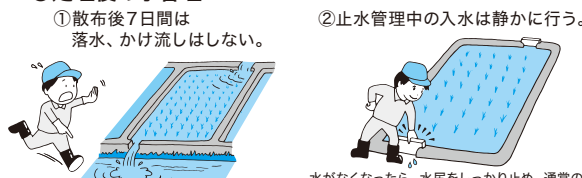
●整地、代かきはいない!



●処理時の水深



●処理後の水管理



水がなくなったら、水尻をしっかり止め、通常の湛水深になるまで水を入れ、水口もしっかり止める。(止め水かんがい)

注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布してください。なお、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果のふれが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカは2葉期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生始期まで、ヒルムシロは発生期までが本剤の散布適期ですが、できるだけ早く散布してください。
- 苗の植え付けが均一となるように、代かきをていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は特に代かきをていねいに行ってください。
- 散布に当たっては、水の出入りをとめて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm程度)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布してください。
- 下記のような条件では初期生育の抑制やクロロシスが生じるおそれがあるので使用をさけてください。特にこれらの条件と梅雨明けなどによる散布時または散布後数日間の異常高温が重なると、初期生育の抑制が顕著になるので、そのような条件下では使用しないように注意してください。
 - ①砂質土壌の水田、漏水の大きな水田(1日の減水深が2cm/日以上)、極端な深水になった水田
 - ②軟弱な苗を移植した水田
 - ③極端な浅植の水田
- 活着遅延を生ずるような異常低温が予測されるときは、初期生育の抑制などが生じるおそれがあるので、このような条件下での使用に際しては、県の防除指針に基づき、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記載しましょう。

*本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 *本印刷物は2023年11月20日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。